

Breeze

YFA News

発行 一般社団法人横浜サッカー協会
 編集 同 広報委員会
 〒222-0033
 横浜市港北区新横浜2-6-3
 DSM新横浜7F
 TEL(045)474-4315 FAX474-4316
 http://www.yokohama-fa.or.jp
 印刷 神奈川新聞社
 〒231-8445 横浜市中区
 太田町2-23
 TEL227-0739 FAX227-0785

スコアボード

第45回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
 1月5日(日) 10:00 開会式 日産フィールド小机
 新春サッカーフェスティバル
 1月13日(月・祝) 横浜スタジアム
 8:50~ ガールズサッカー教室
 10:30~ マリノスサッカー教室
 11:40~ 中体連選抜 vs Jrユース選抜
 12:50~ 高校選抜(北) vs 高校選抜(南)
 14:25~ 社会人交流戦

第51回国際チビツ子サッカー大会は、年号が変わり令和となって、初めての大会となった。U12とU10については、春季大会の成績をもとに、予選リーグを1部と2部に分

け9月8日に開幕した。各クラスの上位チームで決勝トーナメントを行い、11月23日のU10、U8、少女の部の決勝戦で約3か月に亘る熱戦の幕を閉じた。

優勝

- U12-1部 大豆戸FC
- U10-1部 SCH・FC-W
- U8の部 バディーSC
- 少女の部 篠原つばめSC
- U12-2部 FCカルパ
- U10-2部 横浜かもめSC

第51回国際チビツ子サッカー大会

2019年Jリーグ

“横浜サッカー”快挙



©YOKOHAMA FC

J1昇格 横浜FC

横浜F・マリノス リーグ制覇



©Y.F.M.

2019年のJリーグは、横浜F・マリノスが15年ぶり4度目のリーグ制覇。横浜FCもJ1昇格を決めた。この、横浜サッカーの快挙は、横浜サッカーファンのみならず市民の大きな喜びともなった。

来シーズンは、連覇をめざしチャンピオン横浜F・マリノスの戦いぶり、横浜FCの新たな挑戦が期待される。早くも両者が戦う、横浜ダービーが楽しみである。

キャプテンのよるうびの声

U12-1部 大豆戸FC ● 奥谷虎の介君

僕たち大豆戸FCは、2年生、4年生、6年生と市大会や県大会で最後の最後で悔しい思いをしようという練習に励みました。

春からのJFAは長い大会、辛くギリギリの試合もありましたが、やっとここまで来た市大会準決勝は、大会で勝ったことのないSCHで。最後の30秒まで一点差で負けていたけれど、皆は諦めず何とかが得点することができPK。PKで勝利できました。秋の市大会決勝は、春に負けたマリノス。怪我人が2人も出てしまい、最初は大丈夫かなと思ってしまうだけ、当日は逆にこの2人がいないからこそ頑張っていたという意志が強くなりました。

試合は中々得点が入らない試合だったけれど、相手のオウゴールもあり僕たちの気合勝ちだと思えます。キャプテンとして心掛けたことは、ど

U10-1部 SCH・FC-W ● 今村涼弥君

僕は、春の市大会の時にこのグラウンドでくわしい思いをしました。次、ここで試合をするときは笑顔で終わりたいと思いい、チームメイトと練習に取り組んできました。決勝トーナメントになってからは、点がなかなか入らなくて苦しい試合が続きました。だからミスをしてしまいました。だからカバールあつて最後まであきらめずに戦ったから、優勝することが出来たと思います。

一番心に残った試合は、準決勝のSCHFC-B戦です。おたがいみんなのことをよく知っているから、戦いにくい相手でした。でも、いつもいっしょに練習している仲間達との試合はとても楽し

U8の部 バディーSC ● 保坂俊哉君

印象に残った試合はベスト8のSCH戦でPK戦のときは緊張したけれど、勝ったときはすごくうれしかったです。

キャプテンとして心掛けたこと、試合中に声を出してチームを盛り上げました。

優勝のよるうびの声、バディーSCの2年生と秋葉先生、鈴木先生と15人で優勝できてすごくうれしいです。これからもみんなで色々な大会で優勝したいです。

少女の部 篠原つばめSC ● 佐藤和奏さん

私が一番心に残ったのは決勝トーナメントの2試合です。この日は雨でプレーが進みませんでした。そんな中、2試合ともチームメイトが素晴らしいゴールを決めてくれました。2得点ともパスからのセンターリングに合わせたシュートという形でした。

2002 FIFA日韓ワールドカップを思い出しました。あの時も日本国中が熱狂し、サッカー一色でした。今回のラグビーでは大会中に季節外れの台風により試合が中止になり、関東や東北地方では甚大な被害を受け、多くの方が被災しました。また県内のサッカー施設も多く被災しサッカーゴールが流されたり、水没し今も使用出来ない施設があります。被災地域の方々に勇気づけるためにサッカー界も「ONET TEAM」で、2020オリンピック・2022 FIFAワールドカップ最終予選などビッグイベントで選手・指導者・審判・サポーターが一丸となって頑張りますよ。(M)

ハーフタイム

最高の盛り上がりを見せたラグビーワールドカップも、日本代表が大会前の目標であるベスト8入りを達成し、南アフリカの優勝で幕を閉じました。日本中が歓喜し、ラグビーを知らなかった人々もテレビに釘付けになり、老若男女がラグビーの話題で盛り上がっていました。2002 FIFA日韓ワールドカップを思い出しました。あの時も日本国中が熱狂し、サッカー一色でした。今回のラグビーでは大会中に季節外れの台風により試合が中止になり、関東や東北地方では甚大な被害を受け、多くの方が被災しました。また県内のサッカー施設も多く被災しサッカーゴールが流されたり、水没し今も使用出来ない施設があります。被災地域の方々に勇気づけるためにサッカー界も「ONET TEAM」で、2020オリンピック・2022 FIFAワールドカップ最終予選などビッグイベントで選手・指導者・審判・サポーターが一丸となって頑張りますよ。(M)

U12はJFA、U12サッカーリーグ(後期)と、JFA全日本U12サッカー大会神奈川県中央大会出場を決める予選会を兼ねている。

その結果、U12-1部決勝戦では、大豆戸FCが横浜F・マリノスPKを1-0で倒し優勝した。また、U12-2部ではFCカルパが文庫FCとの熱戦を制し優勝した。少女の部では篠原つばめSC、U8の部ではバディーSCが共に春秋連覇を達成した。U10



- 各クラスの結果は次の通り。
- ◎U12-1部 ☆3位決定戦
 - 大豆戸FC 1-0 横浜F・マリノスPr
 - FC 1-0 SCH・FC-W
- ◎U12-2部 ☆3位決定戦
 - 岩崎FC 1-0 二俣川SC
 - ☆決勝戦
 - FC 3-1 文庫FC
 - カルパ
 - ◎U10-1部 ☆3位決定戦
 - あざみ野FC 2-0 SCH・FC-A
 - FC-W 1-0 横浜F・マリノスPr
 - ◎U10-2部 ☆決勝戦
 - SCH 1-0 篠原つばめSC
 - ◎U8の部 ☆3位決定戦
 - JFC 1-1 大尾FC
 - FUTURO(PK 2-0)
 - ☆決勝戦
 - バディーSC 4-2 大豆戸FC-A
 - ◎少女の部 ☆3位決定戦
 - 横浜 2-0 一本松
 - ウインズ 2-0 ガールズ
 - ☆決勝戦
 - 篠原つばめSC 1-0 横浜ジュニオール



横浜代表 横浜猛蹴LEGENDが優勝!

第14回神奈川県地域対抗サッカー大会

第14回神奈川県地域対抗サッカー大会が11月の3週にわたり開催された。横浜市代表として横浜猛蹴LEGENDが会場し、見事優勝した。

- 1回戦 3-0 横須賀蹴友会 (横須賀市)
- 2回戦 1-1 PK 4-1 LIBERAL (綾瀬市)
- 準決勝 3-0 大和FC (大和市)
- 決勝 1-0 エブリサ藤沢セカンド (藤沢市)

昨年度までのNHK杯が、大会名称が変わり、横浜市18区代表U11サッカー大会兼神奈川県U11少年大会予選となり、11月3日、4日の2日間、にわたり、しんよこフットボールパークで行われた。

この大会は18区の5年生の代表チームによる8人制の大会で、12月開催の県大会、横浜市代表を決める予選会を兼ねている。

優勝バディーSC(南区)

第16回横浜市18区代表U11サッカー大会

1日目は4チーム5ブロックの予選リーグを行い、各ブロック1位の5チームと2位(ワイルドカード)の3チーム計8チームが2日目の決勝トーナメントに進出した。

バディーSC、あざみ野FCが関東大会へ

県大会では、バディーSCが優勝、あざみ野FCが準優勝し関東大会に出場することとなった。



篠原つばめSCが優勝 第27回カトレア杯 少女サッカー大会

第27回カトレア杯少女サッカー大会が9月8日、23日の二日間にわたり玄海田公園運動広場で行われた。



この大会は、少女サッカーの育成と発展を目指すとともに、チーム相互の親睦を図ることを目的とし、4種登録チームの4年生までの構成となる。



2019年度第6回すずらん少女サッカー大会が、10月27日、11月4日の2日間にわたり、玄海田公園運動広場で行われた。

金沢ガールズが制覇 第6回すずらん少女 サッカー大会

市内の園児を対象としたキッズ大会が9月28日しんよこフットボールパークで開催された。

法人会員一覧	
横浜マリノス(株)	横浜食品開発(株)
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
(株)横浜シミズ	(株)横浜アーティスト
	(有)フリースタイル

横浜から2チームが代表に 横浜F・マリノスプライマリー、 バディーSCが全国大会へ

第43回全日本U-12サッカー選手権大会神奈川予選



全国大会に出場する両チーム

JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会神奈川予選が11月24日、厚木市の荻野運動公園競技場で行われた。

Bピッチでは同時刻に、バディーSCが昨年度の全国制覇者の川崎フロンターレU-12(川崎市)と全国大会出場を賭けキックオフ、前半はお互い譲らず0-0で折り返し、後半に川崎フロンターレに先制点をゆるしたが攻め続けて中盤に同点に追いつき、攻撃の手を緩めることなく攻め続けて終了間際に逆転、粘りのサッカーをみせ2-1で川崎フロンターレを下し、全国大会出場を決めた。

60代チーム健闘!

ねんりんピック和歌山2019大会



11月9日から12日にかけて和歌山県で開催された、第32回全国健康福祉祭和歌山大会(ねんりんピック和歌山2019)に、政令指定都市・横浜市から60代チームのメンバーの中から構成する「横浜シニア60」が横浜市の代表として参加してきました。

当日は、好天に恵まれ、試合開始。前半3分、自陣の中央から島根のミドルシュート、ゴールを越え、14分、佐藤からの縦パスを中川原が抜け出しキーパーをかわして、シュートするがボールはゴール右外に流れてしまった。後半3分、中央から長尾、藤田と渡り藤田が中央突破を試み相手DFと潰れたところ、こぼれ球を中川原が拾いシュートしゴール、同点に追いつく。14分、フリーキックを長尾が直接狙ったがDFのヘディングで防がれ、逆転することはできず初戦は勝ち点1となる。

今回はうれしいことにメンバーの田中健次氏が、初日の開催地(上宮田町)の町長と誕生日(11月10日)が同じであることで、特別賞が贈呈された。報告・杉浦孝一選手